

平成 29 年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）事業につき、
その概要を以下のとおりご報告いたします。

I. 法人事業の沿革

[法人本部]

1. 社会福祉法人の制度改革に伴う定款変更（平成 29 年 4 月 1 日施行）
平成 29 年 3 月 10 日 認可書到達
2. 社会福祉法人の制度改革に伴う評議員の選任
平成 29 年 3 月 10 日（評議員選任・解任委員会）
評議員 7 名 選任 任期 平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年定時評議員会終結時迄
3. 任期満了に伴う役員の改選
平成 29 年 6 月 21 日（定時評議員会）
理事 6 名 選任 任期 平成 29 年 6 月 21 日～平成 31 年定時評議員会終結時迄
監事 2 名 選任 任期 平成 29 年 6 月 21 日～平成 31 年定時評議員会終結時迄
平成 29 年 6 月 21 日（臨時理事会）
理事長 選任 任期 平成 29 年 6 月 21 日～平成 31 年定時評議員会終結時迄
4. 登記の変更
登記の事由 ・ 目的の変更 平成 29 年 4 月 11 日登記
・ 資産の総額の変更 平成 29 年 6 月 29 日登記
・ 理事長の変更 平成 29 年 6 月 29 日登記
5. 規程の変更
経理規程及び経理規程細則 平成 29 年 4 月 1 日施行
定款運営細則 平成 29 年 4 月 1 日施行（改廃）
定款運営細則 平成 29 年 11 月 18 日施行
役員等の報酬規程 平成 29 年 6 月 21 日施行
育児・介護休業等規程 平成 29 年 10 月 1 日施行
6. 役員会
評議員会
平成 29 年 6 月 21 日（水）
第 1 号議案 平成 28 年度事業報告と計算関係書類及び財産目録の承認について
第 2 号議案 社会福祉充実残額について
第 3 号議案 役員等報酬規程（案）について
第 4 号議案 新理事・監事の選任について

理事会

平成29年 6月 3日

- 第1号議案 平成28年度事業報告と計算関係書類及び財産目録の承認について
- 第2号議案 定款運営細則の承認について
- 第3号議案 新経理規程の承認について
- 第4号議案 新理事・新監事の推薦及び第三者委員の承認について
- 第5号議案 評議員会の招集について
- 第6号議案 その他について

平成29年 6月21日

- 第1号議案 理事長の選任について

平成29年11月18日

- 第1号議案 平成29年度事業運営について
- 第2号議案 定款運営細則の見直しについて
- 第3号議案 その他について

平成30年 3月24日

- 第1号議案 平成29年度補正予算（案）について
- 第2号議案 平成30年度事業計画（案）について
- 第3号議案 平成30年度収支予算（案）について
- 第4号議案 規程の改正について

監事会

平成29年 5月23日（水）

平成28年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

7. 法人行事

平成29年 9月16日 敬老会

平成29年12月28日 もちつき会

8. 地域との交流

広川町と地域介護予防活動への支援に関する連携協定 平成29年11月 1日 締結

平成29年 6月10日 熊本県八代市 特別養護老人ホームあさひ園家族会視察研修

平成29年 8月26日 いやさか苑ふれあい祭り

平成29年 9月22日 広川町民生委員児童委員協議会 班別研修（施設見学）

平成29年12月14日 認知症サポーター養成講座

9. 防災訓練

平成29年 7月26日 実施 デイサービスセンター 出火想定

平成29年11月22日 実施 特養（2階） 出火想定

平成30年 3月28日 実施 ユニット型特養（夜間） 出火想定

10. 苑内研修

①麻生教育サービス（株） 講師アドバイザー料 ￥819,720

〈新人職員研修〉 新卒採用者3名

平成29年 4月 1日

180分

〈接遇マナー研修〉全正職員対象	平成29年 5月31日 (A班)	120分
	平成29年 7月26日 (B班)	120分
〈リーダー研修〉 主任・副主任9名	平成29年 6月13日	180分
	平成29年 8月 8日	180分
	平成29年11月14日	180分
	平成30年 2月13日	180分
〈リーダー個人面談〉ユニットリーダー4名	平成29年 9月 1日	180分
〈新人職員フォローアップ研修〉新卒採用者3名	平成29年 9月 1日	180分
〈権利擁護研修〉 全正職員対象	平成29年10月25日 (A班)	120分
	平成29年12月27日 (B班)	120分
②翔葉 (株)		
〈苑内感染対策研修〉全正職員対象	平成29年 5月24日	30分
③武田製薬 (株) 全正職員対象		
〈不眠症について〉	平成29年 7月26日	40分
〈認知症について〉	平成29年11月22日	40分
④立山歯科医院		
〈口腔ケアについて〉 全正職員対象	平成29年 8月 23日	40分

1 1. 地域交流スペース (ユニット型特養3階) 利用

- ・介護予防教室 (事業の実施主体・・・広川町 福祉課 高齢者支援係)

平成29年12月27日～毎月1回 第4水曜日 午前10時から11時30分

- ・秀光典会 (三味線・民謡サークル)

平成29年 4月～平成30年 3月 毎週月曜日

特別養護老人ホーム彌栄苑 平成29年度事業報告

1. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- ・パラマウントベッド3台 山下医科器械 (株)

平成29年 4月20日 取得 ￥750,600

- ・指静脈認証システム (玄関口及び通用口) セコム (株)

平成29年 5月25日 取得 ￥1,743,228

- ・ライズアトラス浴室仕様レールシステム壁付 山下医科器械 (株)

平成29年12月13日 取得 ￥2,052,000

- ・マルチキャリー (浴室内) 2台 山下医科器械 (株)

平成29年12月13日 取得 ￥432,000

- ・ライズアトラス脱衣室用レールシステム壁付 山下医科器械 (株)

平成29年12月13日 取得 ￥1,252,800

- ・床走行リフト カリーナJ

平成29年12月13日 取得 ￥496,152

〈車両及び運搬具〉

- ・苑車（トヨタ シエンタ） 福岡トヨペット（株）

平成29年 5月25日 取得 ￥2,094,231

（2）大規模修繕

- ・2階女子トイレ改修工事 大坪建設（株）

平成30年 1月25日 ￥6,103,180

（3）広川町地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金

- ・防犯対策強化事業（指静脈認証システム導入）

平成29年 6月10日 ￥1,438,000交付

（4）地域との交流

平成29年 4月～3月	斗和保育園 来苑（誕生会）
平成29年 7月 7日	斗和保育園 来苑（七夕の慰問）
平成29年11月29日	斗和保育園 来苑（歌と踊りの慰問）
平成29年12月22日	斗和保育園 訪問（クリスマス）

Ⅱ．処遇について

（1）相談支援について

- ・入所稼働率91%を目標とし、今年度は91.5%を達成しましたが、今後も入所稼働率を高めていく為に入院者及び入院期間が減少するように医療との連携を図ります。
- ・ショートステイ稼働率は、70%を目標としていましたが、71%の稼働率を達成しました。今後もショートステイの受け入れを積極的に行って、稼働率を高めていきます。
- ・加算では、機能訓練指導員の常勤配置が出来ずに加算取得に至りませんでした。
- ・広報活動としてのホームページについては、サイト訪問数が2,650 ページ閲覧が6,212であり前年度より増加しました。今後も増加するようにフェイスブックの活用等を視野に入れていきます。

（2）処遇計画（ケアプラン）について

- ・各専門職者で行われるカンファレンスにて情報交換を行い、様々な視点から御利用者様・御家族様の希望も含めケアプラン内容・支援方法について検討することができました。また、前年度に引き続き今年度も担当制を推進することで、職員の担当意識が向上しているため、今後も継続します。

（3）OJT 活動について

- ・指導職員の外部講師による研修を実施し指導の知識を得るとともに、新人職員に対しても、年に2回外部講師による研修を行い、前年度の反省点・改善点を踏まえた OJT 活動ができました。

（4）余暇時間と余暇活動について

- ・可能な限り外出の機会を確保できるよう努めましたが、心身の状態変化により外出が困難になった御利用者様が増えてきました。そのぶん苑内で、職員手作りの鳥居での初詣やデザートビュッフェ等を実施し、御利用者様全員が参加して楽しめる行事を取り入れることができました。
- ・レクリエーションの一つとして季節を感じられる苑内の飾りを御利用者様と一緒に作成することができました。

（5）サービスマナーの向上

- ・CS 向上委員会では、満足度向上に向けて御利用者様・職員へのアンケートを実施し、現状の把握

握・改善点の検討に努めました。改善できる部分がまだ残されているため、今後も一つずつ改善に努め、よりよい施設づくりを行います。

・月に1回の勉強会に加え、外部講師による法人全体での研修や個々人が外部研修に積極的に参加しました。

(6) 生活支援サービスの充実

①食事について

・食事前に手指消毒や嚥下体操・口腔内清拭を行い、感染予防・誤嚥防止に努めると共に食事状態のこまめな観察を行いました。

以前の食事状態では、“柔らかか食”と”嚥下食“の硬さ・形状に大きく差があり、御利用者様の状態に合わせにくい部分がありました。”柔らかか食“を”刻み食“へと形態を変更し中間の形態を軟菜食と嚥下食の間につくることで、より御利用者様の状態に合わせやすい食事を提供することができるようになりました。また食事形態の検討と共に、看護職員による食事しやすい姿勢（ポジショニング）の指導を受けることで、より安心・安全に食事をしていただけるよう支援しました。

②入浴介助について

・前年度に引き続き、御利用者様の状態に合わせたシャワー浴・機械浴の検討をこまめに行い、安全に入浴ができるよう支援しました。

体調が不良の御利用者様には清拭にて対応を行い、行事等で入浴できない日には、代替日を設けて週2回以上の入浴を確保しました。

③排泄介助について

・排泄委員会の設置により、今まで以上に御利用者様ひとりひとりにあった排泄支援に努めることができました。全職員対象でのオムツ研修を行い知識・技術の向上に繋ぐことができたため、来年度も定期的にオムツ研修の実施に取り組んでいきます。

(7) 年間行事報告

4月	桜見学・誕生日会
5月	端午の節句・新茶会・母の日・誕生日会
6月	ホテル見学・あじさい菖蒲見学・父の日・誕生日会
7月	七夕・駄菓子屋処・誕生日会
8月	物故祭・ふれあい祭り・誕生日会
9月	敬老会・誕生日会
10月	十五夜・コスモス見学・船小屋ドライブ・誕生日会
11月	银杏見学・誕生日会
12月	クリスマス会・もちつき・誕生日会
1月	新年会・苑内初詣・鏡開き・デザートビュッフェ・誕生日会
2月	節分・誕生日会
3月	ひなまつり・誕生日会・桜見学

(8) 勉強会報告

4月	権利擁護推進委員会（高齢者福施設等における虐待について）
5月	外部研修（接遇マナーについて）
6月	感染予防対策委員会（院内感染～接触感染～対策について）

7月	褥瘡予防対策委員会（褥瘡について）
8月	看護師（高齢者にみられる疾患について）
9月	事故対策委員会（ヒヤリハットについて）
10月	外部研修（権利擁護について）
11月	排泄委員会（ワセリンの使い方ガイド）
12月	感染予防対策委員会（インフルエンザについて）
1月	管理栄養士（ノロウイルスについて）
2月	褥瘡予防対策委員会（褥瘡について）
3月	事故対策委員会（平成29年度ヒヤリハット統計）

（9）委員会活動報告

安全衛生管理委員会	職場内巡視によりヒヤリハットの確認、職員の健康管理腰痛予防について月1回委員会を開催しました。また、隔月に産業医に来院していただき感染防止や食中毒予防等の講義をしていただきました。がん検診推進事業所に登録しました。
権利擁護推進委員会	身体拘束に関するアンケート実施や面談により職員の権利擁護に関する知識や現状を把握することができました。権利擁護についての知識・意識向上に向けて今後も継続して実施していきます。
事故対策委員会	ヒヤリハットについてこまめに対策を立て対応していくことができました。今後インシデント・アクシデントに分けた報告書・対策欄追加等検討し、怪我につながるリスクを減らせるよう取り組んでいきます。
褥瘡予防対策委員会	こまめな皮膚観察にて褥瘡の早期発見を行い処置・対応を行ったものの再発・悪化がみられることが多かったです。
感染予防対策委員会	うがい・手洗い・手すりやドアノブ、トイレの消毒・換気を徹底することで感染症の蔓延を防ぐことができました。今後も予防対策の徹底を心がけていきます。
給食委員会	嗜好調査・残食調査にて御利用者様のニーズに合わせた食事の提供に努めるとともに、軟菜と嚥下食の間に刻み食を作ること、より御利用者様の状態にあわせた食事を提供することができました。
行事委員会	外出行事等では同じ行事内容でも参加される御利用者様に限りがあるため複数回の実施で補完することができました。体調不良・均等体調管理に伴い外出の行事が限られましたが、近場・苑内で少しでも補えることができました。季節感や楽しさ・雰囲気を引き出しており、御利用者様と共有することができました。
実習委員会	実習生が自分たちの目標に向けて伸び伸び実習ができるよう支援することはできましたが、職員に余裕がなく技術面での実習が不十分だったように感じました。今後は、支援する側の

	職員がゆとりをもって実習生へ対応できる環境づくりに努めていきます。
CS 向上委員会	御利用者様・職員へのアンケートを実施し、現状や問題点の把握・分析をすることができ、少しずつではあるが可能な範囲から改善に努めることができました。些細なことでも見逃さずに汲み上げていくとともに意見が言いやすい環境づくりに努めていきます。
排泄委員会	「排泄介助を通して御利用者様の自立につなげていき、その方らしい生活が快適に送れるように支援していく」が目標でしたが、オムツの御利用者様をトイレへとはなかなかいかず、現状維持の1年でした。その中でも御利用者様に合わせたオムツサイズやパットの種類の検討を行い、変更した内容がわかりやすいように御利用者様一人ひとりにサイズ・種類の表を準備し間違いを減らす努力ができました。

彌栄苑デイサービスセンター 平成 29 年度事業報告

I. 事業所の概要

- (1) 定員 20 名
- (2) 営業日 月曜日～土曜日
- (3) 営業時間 9 : 0 0 ～ 1 8 : 0 0
- (4) サービス提供時間
- | | |
|------|--|
| 通所介護 | 9 : 0 0 ～ 1 6 : 4 5 |
| 総合事業 | 9 : 4 0 ～ 1 5 : 3 0 (筑後市、広域連合柳川・大木・広川支部) |
| | 9 : 4 0 ～ 1 4 : 3 0 (久留米市) |
- (5) 加算
- | | |
|------|------------------------------|
| 通所介護 | 個別機能訓練加算Ⅰ・入浴介助加算・サービス提供体制加算Ⅰ |
| 総合事業 | 運動器機能向上訓練加算・サービス提供体制加算Ⅰ |
- (6) 介護予防通所介護から総合事業への移行
- 平成 2 9 年度は、総合事業へのみなし期間であった為、総合事業へのスムーズな移行が行えるように手続きをしました。
- 総合事業対象の市町村・・・久留米市、筑後市、福岡県介護保険広域連合
- 総合事業の実施・・・平成 2 9 年 6 月～開始

II. 事業所の沿革

1. 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成 2 9 年 5 月 1 0 日 第 24 次借入金元金・利息償還実施 [¥ 1, 8 7 2, 6 4 0]

平成 2 9 年 1 1 月 1 0 日 第 25 次借入金 利息償還実施 [¥ 9 8, 5 6 0]

2. 大規模修繕

・空調設備更新工事 三和冷暖房（株）

平成 2 9 年 6 月 2 6 日 ¥ 4, 7 5 2, 0 0 0

3. 地域との交流

・ 広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業

職員（介護福祉士・シナプソロジーインストラクター）2名 登録

登録期間 平成29年 6月 7日～平成30年 3月31日

派遣	平成29年 6月26日	牟礼区 老年会
	平成29年 8月18日	太田区 いきいきサロン
	平成29年10月 3日	六田区 語ろう会
	平成29年10月23日	久泉区 いきいきサロン
	平成29年11月 7日	梯区 老人クラブ
	平成29年12月 6日	北新代区お楽しみサロン
	平成30年 1月15日	馬場区 お楽しみサロン
	平成30年 3月28日	太田区 いきいきサロン

・ 広川町老人クラブ サロン活動においての交流会に参加

平成29年 4月	長延、川瀬北、知徳	各公民館
平成29年 5月	川瀬北、吉常	各公民館
平成29年 6月	太田、知徳、川瀬北	各公民館
平成29年 7月	吉里、藤田、川瀬北	各公民館
平成29年 9月	高間	公民館
平成29年10月	川瀬北	公民館
平成29年11月	藤田	公民館
平成30年 3月	川瀬北	公民館

・ その他 平成29年12月22日 斗和保育園 訪問（クリスマス）

II. 日課について

（1）送迎介助

御利用者様や御家族様の希望された時間に合わせて配車を組み、送迎を実施しました。利用日の前日に迎えの時間を電話や個人連絡ノートにてお伝えしました。

彌栄苑に到着時と外出行事等から戻られた際は、必ずうがい、手洗いの声掛けと手指消毒をしていただき、感染予防に努めました。

（2）入浴介助

歩行困難な御利用者様には、シャワーキャリー使用で入浴室内の移動介助を行いました。原則的に同性職員の対応で入浴を実施しました。洗身・洗髪・着脱等は、御利用者様の残存機能を活用しながら、出来る限りご自身で行っていただき、浴槽内での入浴中は、長湯にならないように職員が見守りました。

入浴中は、皮膚観察を行い皮膚トラブルがあった際は、速やかに看護職員に報告し、観察と処置を行いました。また、御家族様に電話や連絡ノートに記載して報告を行いました。

（3）排泄介助

尿意・便意の訴えない御利用者様には、トイレへの誘導の声掛けを実施しました。また、その排泄記録をとり排尿感覚の把握に努めました。立位が不安な御利用者様には、便座への安全な移乗介助を行いました。

(4) 食事介助

昼食前の10分～15分で早口言葉や発声練習等の口腔体操を実施しました。自力摂取が困難な御利用者様は、座位姿勢を整えていただき嚥下状態を確認しながら安全な食事介助を行いました。

御利用者様の要望に応えられるよう嗜好調査を実施しました。また、嚥下状態等に合わせて食事形態を変更するなど管理栄養士と連携をとりながら改善に努めました。

(5) レクリエーション

手指のリハビリを兼ねて、簡単な作品（小物づくり、バラの花飾り）、塗り絵、手作りおやつ等を毎月実施しました。外出レクリエーションとしては、花見や買い物等、安全に実施することができました。午後からは、御利用者様と職員が一緒になって、頭の体操（脳トレ）やゲーム（輪投げ、ボーリング、ジェンガ等）、カラオケ機を活用して音楽体操（歌や踊り）を行いました。

また、毎月第4水曜日には、斗和保育園の園児と一緒に手遊び等をして交流を図りました。

(6) 機能訓練

機能訓練指導員を中心として、各週でメニューを変更しながら集団体操（上下肢の体操）を実施しました。個別リハビリについては、個々のケアプラン内容に沿って、機能訓練指導員の指導のもとバイオステップ、肋木、ペダル漕ぎ、全身ストレッチ、プーリー、腕力訓練、握力訓練、歩行訓練等を実施しました。

(7) シナプソロジー

近隣の公民館（サロン活動）へ足を運んで、地域住民の方を対象にしたシナプソロジーを実施し介護予防のために脳活性化の刺激を受けていただきました。

(8) 年間行事

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 鶴の会慰問、外出（桜花見・つつじ見学）、ステップ&ステップ慰問、大正琴慰問、道優会慰問、音楽21慰問 |
| 5月 | 歌の慰問、外出（ジョイフル）、川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問 |
| 6月 | ステップ&ステップ慰問、大正琴慰問、道優会慰問 |
| 7月 | ステップ&ステップ慰問、外出（マクドナルド）、川瀬北コスモス会慰問 |
| 8月 | 大正琴慰問、夏祭り（音楽21慰問）、道優会慰問 |
| 9月 | 外出（ゆめタウン）、ステップ&ステップ慰問、川瀬北コスモス会慰問、敬老会、鶴の会慰問 |
| 10月 | ステップ&ステップ慰問、川瀬北コスモス会慰問、外出（コスモス見学）、大正琴慰問、道優会慰問、音楽21慰問 |
| 11月 | ステップ&ステップ慰問、外出（道の駅）、川瀬北コスモス会慰問、鶴の会慰問 |
| 12月 | ステップ&ステップ慰問、外出（広川いこっと見学）、道優会慰問、大正琴慰問、音楽教室（(株) トーニン）、音楽21慰問、もちつき |
| 1月 | 外出（初詣水田天満宮・パン屋）、音楽21慰問、鍋会 |
| 2月 | 外出（梅花見）、九州プロレス慰問、大正琴慰問、道優会慰問 |
| 3月 | 鶴の会慰問、ステップ&ステップ慰問、音楽21慰問、外出（桜花見） |

彌栄苑グループホーム 平成29年度事業報告書

I. 基本方針

介護保険法に基づき、認知症により居宅での生活が困難な高齢者に対し、住み慣れた町で家庭的な雰囲気のもと安心して自分らしく暮らし続けられる様、適切な介護や援助をしながら食事の準備、清掃及び洗濯などの家事を職員と御利用者様が共同で行うことにより認知症の進行を出来るだけ穏やかにし、御利用者様の社会的孤立の解消に努めました。

II. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈器具及び備品費〉

・パラマウントベッド3台	山下医科器械（株）			
	平成29年 4月20日	取得		¥753,256
・指静脈認証システム（通用口）	セコム（株）			
	平成29年 5月25日	取得		¥714,572

(2) 地域との交流

・平成29年10月15日	RUN 伴+2017IN 広川 参加
・平成30年 2月 3日	斗和保育園 訪問（節分）

III. 処遇について

(1) 個別援助計画

①新規入居者の御利用者様に対しては、心身の状況等を把握することに努め、御本人や御家族様の思い、希望や意向を反映できるような支援の方法を職員の間で十分協議し努めました。

②定期的に会議を実施し、個別援助計画の実施状況の把握をし、変更の必要性が生じたときは、速やかに見直しをするよう努めました。

③個別援助計画の重要性を全職員が認識し、情報の共有化に努めできる範囲で個々のニーズに即した形でサービスを提供してきました。

(2) 生活相談

①御利用者様、御家族様から介護サービスについて要望があった場合は、迅速かつ適切に対応するよう努めました。

(3) 生活援助

①御利用者様の身体機能及びその能力に応じた日常生活の援助に努めました。

②御利用者様へ満足度チェックのアンケートを実施し、要望や趣味又は嗜好に対して可能な限りの生活支援に努めました。

③家族会を通じて、御利用者様と家族との連携を図るとともに、交流等の機会を確保するように努めました。

(4) 機能訓練

①生活リハビリとして、家事等を日常生活の中で可能な限り行いメリハリのつく生活を心がけて生活意欲の低下防止に努めました。

②個別レクリエーションの強化として、御利用者様一人ひとりの能力に合わせて実施計画を作成しました。職員が個別に動作訓練・身体機能訓練を行い、脚力低下・予防・維持に努めました。

③集団リハビリでは、御利用者様全員で体操やストレッチをすることで刺激を与え、身体機能の維持・向上に努めました。

(5) 職員の質の向上

①内部、外部研修に参加し、職員自身のスキルアップに努めました。

②サービスの質の確保と向上を図る目的として、年間自己評価及び第三者による外部評価を受け、御利用者様と御家族様の信頼を高めるように努めました。

(6) 地域社会との連携

①ふれあい祭りを開催し、地域住民との交流を図るよう努めました。

②近隣の保育所（斗和保育園）の園児から訪問をしていただき、交流を図りました。

〈御利用者様の利用状況〉 退去者・・・平成 29 年 5 月 31 日（介護 1 女性）
平成 29 年 7 月 28 日（支援 1 男性）
平成 29 年 8 月 23 日（介護 5 女性）
平成 29 年 8 月 30 日（介護 2 女性）
入居者・・・平成 29 年 6 月 5 日（介護 1 女性）
平成 29 年 8 月 10 日（介護 1 女性）
平成 29 年 9 月 2 日（介護 2 女性）
平成 29 年 9 月 7 日（介護 4 女性）

〈運営推進委員会〉 開催日・・・平成 29 年 5 月 31 日 平成 29 年 7 月 31 日
平成 29 年 9 月 26 日 平成 29 年 11 月 28 日
平成 30 年 1 月 29 日 平成 30 年 3 月 27 日

〈家族会〉 開催日・・・平成 29 年 4 月 14 日

〈行事及び外出〉 4 月・・・家族会、桜見学
5 月・・・端午の節句、母の日、誕生会、外出（バラ見学）
6 月・・・父の日、外出（サーカス鑑賞）
7 月・・・七夕、外食会（ジョイフル）
8 月・・・物故祭、ふれあい祭り
9 月・・・敬老会、誕生会
10 月・・・外出（コスモス花見）、外食会（ジョイフル）
11 月・・・誕生会
12 月・・・誕生会、クリスマス会、もちつき
1 月・・・外出（成田山初詣）、七草粥、鏡開き
2 月・・・誕生会、節分、外出（八女人形会館見学）
3 月・・・誕生会、ひな祭り、外出（桃花見）

ユニット型特別養護老人ホーム彌栄苑 平成 29 年度事業報告

I. 事業所の概況

平成 26 年 2 月に開設し、平成 30 年 3 月に 5 年目を迎えました。今年度は、御利用者様の入退居の入れ替わりが非常に多く、10 名の方が新しく入居されております。御利用者様の平均要介護度は、平成 30 年 3 月 31 日の時点で 3.6 となり、平均年齢は、86.9 歳となっております。

II. 事業所の沿革

1. 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成 29 年 4 月 10 日～平成 30 年 3 月 10 日

第 45 次～第 56 次借入金元金・利息償還実施 [¥ 13,598,788]

2. 佐賀銀行 津福支店（長期運営資金借入金）

平成 29 年 4 月 25 日～平成 30 年 3 月 26 日

第 40 回～第 51 回借入金元金・利息償還実施 [¥ 4,407,852]

3. 固定資産取得

〈器具及び備品〉

・指静脈認証システム（玄関及び通用口） セコム（株）

平成 29 年 5 月 25 日 取得 ¥ 421,200

4. 地域との交流

・平成 30 年 2 月 3 日 斗和保育園 訪問（節分）

III. 処遇について

（1）入浴

御利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

（2）食事

ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことで温かい食事を召し上がって頂いています。

食事の内容に対して意見、要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談、改善を行いました。御利用者様がより家庭的な食物を希望されることもあり、各ユニット手作りおやつや外食会、手作りおかず、出前、お誕生日には好物でお祝いする等の工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に御利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化している方がいらっしゃいます。他の方が参加されているのに刺激を受けて、できないと思われていた御利用者様が家事活動に参加できた時には、御利用者様の持つ能力を実感することもありました。

（3）暮らしの継続

ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しております。入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。御利用者様から相談があった場合は、その都度お話をして相談表にまとめ改善に向けた対応を行っています。御利用者様同士や職員に対してのトラブル等があった場合は、その都度、対応し早期の終結に努めました。御家族様とは、連絡や情報の共有、面会等多くのご協力をいただきました。毎日のように御面会いただける御家族の方も数名おられます。行事等にも多数ご参加いただき、御家族様と想いを共有することができました。

(4) 健康管理

医療面においては看護師と連携し、より専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。かかりつけ医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握し、必要な場合は、御家族様へ報告を行いました。今年度は、4名の方が当苑での看取りを希望され、最期の時を職員とともに過ごさせていただきました。ターミナルが近づいていることを時機を見て御家族様にお伝えし、御家族様と寄り添うことで思いを知り、より良い看取りについて考え学ぶことができました。今後も寄り添う姿勢でケアに当たりたいと思います。

(5) 機能訓練

今年度は、脳活性プログラムに取り組みました。デイサービスセンターがシナプソロジーの実施を行ったことで、当事業所の職員も普及員として研修に参加し、各ユニットの余暇時間に実施できる環境を作りました。脳活性を目標に計算問題やパズル等、生活の中に取り入れても違和感のないメニューにして全体で取り組むことができました。御利用者様の重度化に伴い認知症の周辺症状が表出しやすい方も増えてくると予想されます。今後も脳活性の必要性は高く有効なものだと感じています。より身近なものとして取り入れていけるように工夫しながら取り組んでいきます。

(6) 行事・クラブ活動

ユニット毎に様々な行事を行いました。御利用者様の状態やパーソナリティによって、ユニット毎のカラーが出やすいので行事の内容も各ユニットでそれぞれ異なります。それぞれ各ユニットで創意工夫を凝らしましたが、職員の中から行事や日課のレクリエーションが十分でなかった、御利用者様の満足に近づけていないのではないかと反省があがっております。

全体の行事としては、川瀬北大正琴の慰問と斗和保育園からの慰問が隔月で行われており、敬老会や花鳥風月会などの行事に取り組みました。敬老会では、音楽21様による演奏会が毎年恒例になっており、御家族様も大変楽しく過ごされています。次年度の敬老会を既に楽しみにされている御利用者様、御家族様の要望にお応えし今後も御家族様参加型の行事を継続していきます。

また、クラブ活動を今年度より各ユニット主催で開催しています。花ユニットは、カラオケクラブ、鳥ユニットは、レクリエーションクラブ、風ユニットは、書道クラブ、月ユニットは、絵手紙クラブとバラエティに富んだ活動ができました。他のユニットの御利用者様と職員とのコミュニケーションも図れました。

(7) 職員について

昨年度に比べて今年度の離職者は2名でした。職員の定着ができています。御利用者様、御家族様、職員の関係が近いことで連携を取りやすく、各ユニットそれぞれの雰囲気を大切にしながらも職員全体で理念を共有し、月間目標を立てて達成の状況をリーダー会議で報告できる体制をつくりました。今後も継続して風通しの良い職場の人間関係を形成していきます。

(8) 各ユニットより

・花ユニット

今年度は、権利擁護について深く考える年となりました。認知症の方に対し否定的な言葉かけをするというスピーチロック（拘束）についてです。御利用者様間での関係性で、認知症により自分のおばあちゃんだと言い張る御利用者様と否定される御利用者様。職員も否定的な言葉かけをせず、お二人が穏やかに過ごせる方法はないのかと考えさせられました。結果としては、他事業所への移動ということで解決した事案でしたが、花ユニットだけではなく、他ユニットや事業所の協力を得られたことは大変良かったです。

外出行事等では、職員間で時間配分を行い御利用者様が全員参加できたこと、行事以外の日中の些細な出来事も写真を撮ることたくさんの笑顔が見られました。行事のたびに写真をまとめ写真集を作成し、御家族様の面会時に閲覧していただき喜ばれました。今後も継続していきます。

日々の生活の中で個々を尊重するところは尊重し、また「皆さん一緒に！」と行事を計画すると皆さん揃って参加して頂けることに感謝しています。御利用者様一人ひとりの話をゆっくり傾聴できない日もありましたが、御利用者様に耳を傾け色々な変化を見逃さぬよう寄り添った援助ができることを今後の目標とし、御利用者様だけでなく、その御家族様にも笑顔になって頂けるよう楽しく笑いの絶えない毎日を過ごしていただけるよう援助していきます。

・鳥ユニット

今年度は、職員の異動がなく馴染みの職員が御利用者様一人ひとりに接する時間を多く持つ事ができました。誕生会では、御利用者様の希望を聞き実行することによって「ありがとう」など笑顔で言うていただきました。また、毎月行事を行うことによってコミュニケーションをとる機会ができ、御利用者様同士の関わりあいも少しずつ増えていきました。以前は、あまり関わりのなかった御利用者様同士が出会った際は、挨拶をしたり握手をしたりお互いに励ましあったりと交流される姿が見られ良い環境ができています。

反省点としては、御利用者様の帰宅願望等、落ち着きが見られない時があり、その時に職員が笑顔で対応できなかったことがありました。今後、色々な状況がある中でも笑顔で職員が御利用者様と接することにより、明るい雰囲気づくりを心掛け、御利用者様にとって過ごしやすく笑いが絶えないユニットづくりに努めます。

・風ユニット

今年度は、職員の人事異動、離職がなく1年間同じ職員で援助することができ、御利用者様や御家族様には、馴染みの職員であることで不安にさせることがなく良かったです。しかし、目標に掲げていましたが、満足のいく援助を提供し続けることで権利擁護において苦悩することが多くありました。日中・夜間共に御利用者様の動きが激しく、他の御利用者様の対応が出来ずに御迷惑をかけたことがありましたが、病院受診やその都度対応をすることなど色々と試行錯誤しました。そのような時に他ユニットや事業所、嘱託医の協力が得られ多職種協働の経験が出来て良かったです。行事ごとには力を入れた年になりました。個別で外食に行きおやつを御利用者様と一緒に食べたり、ユニット内で誕生会やおやつ作りをしたり出前を取ったりと御利用者様の希望や要望に応えることで御利用者様全員が笑顔で満足されました。今後も御利用者様に過ごしやすい生活を送っていただくように心地よい環境づくりに努めます。

・月ユニット

今年度は、年間目標である一人ひとりの状態、ペースに合わせた援助・介助を行い安心・安全な生活を送って頂けるよう努め、また、御利用者様のお気持ちを考え尊重し、常に笑顔に努め和やかな暮らしの場を提供し落ち着いた生活を送って頂くことができました。

行事では、誕生会等に寿司や弁当を外注し、それに職員の手料理を加えて楽しんで頂きました。季節の行事としては、工夫を凝らし楽しんでいただきました。外出行事では、天候に恵まれず数少ない機会ではありましたが、季節の花を楽しんで頂いたり道の駅等への外出をしたり、外食を楽しんで頂きました。日々のレクリエーションでは、紙芝居や職員手作りのゲーム等、クラブ活動で心身の活性化に努めました。今後も御利用者様と接する時間をより多く設けることができるよう、また御利用者様のより多くの笑顔を見ることができるよう、一人ひとりのお気持ちを大切に目標を念頭に介護・支援に努めます。